

ゆずることのできない平和

みんなで語ろう



8月伝



発行所
NTT労働組合
九州総支部

〒812-0013 福岡市
博多区博多駅東3-2-28

TEL 092-714-8296
FAX 092-461-2242

発行責任者
田畑忠治
編集責任者
久保里美



6月23日は、72年前の大戦で亡くなったすべての犠牲者に対し哀悼の誠を捧げ、二度と悲惨な戦争を起こさないことを誓う「慰霊の日」です。「慰霊の日」に寄せて、沖縄分会・砂川分会会長に平和への思いを語っていただきました。

沖縄戦終結50周年を記念して建設された「平和の礎」には、国籍を問わず民間人・軍人の区別なく、沖縄戦などで亡くなったすべての人々の名前が刻銘されています。

戦争への道を進んでいくとの懸念が広がっています。特定秘密保護法、集団的自衛権行使容認、安保法制の強行

採決や解釈変更、そして共謀罪を創設し、人権無視、表現の自由の制限など、監視国家を作り上げようと躍起に

なっています。

なぜ、国民は危機感を持ち、声を上げようとしないのでしょうか。「自分には関係ない、面倒くさい」と思っているのでしょうか。勇気を振り絞って、使命感をもって、声を上げ行動した人たちに向かって、ヘイト的な言葉を投げかけるのはなぜなのでしょうか。

6月23日から「2017沖縄ピースすてーじ」が開催されます。全国の仲間が沖縄に集い、沖縄戦の実相や在沖米軍基地の問題を体



「平和の礎」に祈りを捧げる「2016沖縄ピースすてーじ」参加者

感じ、周りに広げることになります。

沖縄平和祈念資料館には、「戦後このかた、私たちは、あらゆる戦争を憎み、平和な島を建設せねば、と思いつづけてきました。これが、あまりにも大きな代償を払って得た、ゆずることのできない、私たちの信条なのです」と、むすびの言葉が掲げられています。

はっちゃんねる

ラグビーW杯特別仕様ナンバープレート

今回、2019年ラグビーW杯開催を記念した図柄入り特別仕様ナンバープレートを申し込んだ、ディーラーから、たまたま車検の事前連絡があり、車検見積りの際にもらったのが、そのナンバープレートだった。その時には特に関心もなかったのだが、帰宅した子どもの目に留まり、検討した結果、大会開催が子どもの高校生最後の年ということ、大会開催への支援とあわせ、部活での活躍と期待を込めて、申し込むことにした。今年の4月から全国で販売が開始されているが、まだ街中で見かけたことがない。今月中には、図柄入りナンバープレートの車検がやってくる。ラグビーW杯特別仕様ナンバープレートに、少し恥ずかしい気もするが、やさしい運転とともに、ラグビーW杯をPRしていきたい。

(武井 健一郎)

一方で、今の日本は、先の大戦で多くの国民が犠牲になったことを忘れたのかと思つほど、

生きようとしても生きられなかった若者、名前すら付けてもらえなかった赤ん坊、未来を奪われた人々が、生きた証として刻まれています。「平和の礎」は、犠牲になった肉親の面影を探し、祈りを捧げる神聖な場所でもあります。

旬感

もの言える社会を残すため

6月7日に第3回分会政治担当者会議を開催し、昨年お世話になった第24回参議院議員選挙「投票動向調査」結果をはじめ、今後の取り組み等について認識をあわせた。「投票動向調査」では、九州総支部の投票率は「92.6%」であり、全国の参議院選挙の「54.7%」に比べ極めて高くなっている。他にもいろいろな項目があるが、詳細は各分会へ問い合わせをお願いしたい。

さて、政治状況に関して「特定秘密保護法案」は成立しており、今度はいわゆる「共謀罪」。この2つが



副委員長
山下一

セットになったとき、私たちのプライバシーや知る権利・言論の自由は守られるのか？

「森友学園」はいつの間にかやぶの中。「加計学園」疑惑では「怪文書」として、文部科学省の調査では「確認できず」。前事務次官の報道に乗じた証言の真偽にも言及。その後、現役職員の証言等による世論の後押しにより、やっと再調査。今後もプライバシーと知る権利・言論の自由を守るためには、おかしいことをおかしいと言える社会を残すことが必要なのは確かである。

が、あまりにも大きな代償を払って得た、ゆずることのできない、私たちの信条なのです」と、むすびの言葉が掲げられています。

重要な大会・積極的討議を

第2回分会三役(拡大)会議

6月14日(水)、第2回分会三役(拡大)会議を開き、「第20定期全国大会議案および西本部第20回定期大会議案」等について理解を深めるとともに、職場対話会に向け認識を合わせた。

はじめに、総支部・

田畑委員長は、各級大会の位置づけについて、向こう2年間の運動・活動方針を決定する重要な大会であると述べた上で、今後の人員政策、国会情勢、平和の取り組み—な

どに触れあいさつした。

次に、西本部・喜井委員長から、「第20定期全国大会および西本部第20回定期大会」の議案のポイントについて、提起を受けた。

成基金」の創設について

では、教育活動の充実・強化に向けた意義などについて強調された。その後、分会からは、有期・無期雇用者特別手当の統一化に向けて

のあり方、グループ

会社採用社員の処遇のあり方、サポート手当創設に伴う食堂利用低下への対応—などについて意見が出された。

西本部からは、各

社区々となつて有期・無期雇用者の特別手当の支払い率については、課題と認識しており、引き続き政策検

るよう対応

を行なう—などの見解が示され認識を合わせた。

総支部・

分会は、本会議をふまえ、各職場で対話会を実施する。今各級大会は、向こう2年間の運動・活動方針を決定する重要な大会であることから、組合員皆さんの積極的な討議を要請する。



会議もよう

ランニングを通じた仲間たち

キラ星★九州



東さん

北九州市役所近くの勝山公園でランニングを楽しむ市民ランナーに交じって、黄色いビブスを着用して二人一組で走るランナーが目に残ります。ビブスには「視覚障がい者」「伴走者」の文字。彼らのチームは「北九州ブラインドランニングクラブ(KBRC)」で、視覚障がい者のスポーツ活動を支援するため2014年に発足しました。

生まれつきの全盲、人生半ばで光を失った視覚障がいを持った彼らは、ランニングを通じて仲間を得られたと嬉しそうに笑います。一方、サポート側の伴走者も、走りながら誘導の声を出すことで心肺機能が強化されプラス効果になると声を弾ませます。

視覚障がい者と伴走者、基本は同じランナー。共通の趣味なので練習会での話題は尽きません。仕事や年齢、性別を超えたつきあいの中で、お互いの人間性を高め合っていきたいものです。



ランニングを楽しむ皆さん

伴走者として協力いただけるランナーさんがいましたら、毎週火曜・水曜の19時に勝山公園へ伴走体験や見学に来てください。

(北九州分会 東 伸広)

未来遺産

宮崎県庁

宮崎県庁本館は1932年10月に完成し、九州唯一、戦前から残る県庁舎であり、現役の県庁・本庁舎としては、日本で4番目に古い庁舎です。また、庁舎前庭は、県木フェニックスやピロウ樹、アコウなどの亜熱帯植物が植栽され南国ムードを演出しています。

(宮崎分会 荒木 敬子)

